

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		事業コード		担当部課	部課コード	810500	2998-9253	
810513		埋蔵文化財調査センター施設管理事業		文化財保護課				
開始年度		平成 6 年度	終了年度	年度	グループ	埋蔵文化財		
事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画			文化財保護法			
	関連・類似事業				所沢市文化財保護条例 所沢市埋蔵文化財調査センター条例			
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	市民文化	基本方針	風土に培われた歴史と文化の伝承と発信	
事業開始の背景	埋蔵文化財の発掘調査によって出土した遺物と調査記録類は、旧市役所庁舎や元中央公民館地下倉庫に保管されていたが、出土量の増加とともに保管場所が不足し、活用が図られない状態であったため、平成6年に市立埋蔵文化財調査センターを開館した。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	発掘調査による出土遺物やその付帯資料を永年にわたって整理・保存し、資料の展示・活用を十分に図るため、また、埋蔵文化財に関する各種情報を児童・生徒や一般市民に広く提供する施設として、埋蔵文化財調査センターを適正に管理する。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 26 年度	342,564	人	
	市民				平成 27 年度	343,067	人	
事業の具体的な内容及び実施方法								
出土遺物の整理及び調査報告書作成作業の適正な環境維持 埋蔵文化財資料(遺物・図面・写真・図書等)の適正な保管 埋蔵文化財資料(遺物・図面・写真・図書等)の展示・閲覧・活用スペースの維持管理 施設利用者へのサービス提供のための施設維持・安全管理								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			8,329	7,345	7,788		
	決算(見込み含む)			6,958	6,619			
	(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(0.05 人)	(0.00 人)	(人)	(人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	正規職員人件費		0.78 人	6,802	0.85 人	7,361		
	事業費合計			13,760	13,980			
財源内訳	一般財源		13,673	13,812	7,788			
	国・県支出金							
	その他()		87	168				
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	利用者数	来館者数及び職員・臨時職員数	人	11,160	11,693	11,700	12,000
		年間開館日数	通常開館日及び臨時開館日	日	248	251	245	245
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	施設修繕件数	年間の施設修繕件数	件	目標値	5	5	5
					実績	4	5	<input checked="" type="checkbox"/> 実績が拡大図る <input type="checkbox"/> 実績が縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	80	100	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	高木植木の伐採と境界付近にあった植木の伐採及び西側道路にはみ出した植木の剪定を実施し環境整備が図られた。							
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	発掘調査の拠点及び埋蔵文化財の展示公開の場として、所蔵資料と来場者の安全性を第一に考え、維持管理を図っていく必要がある。また、建設後23年が経過し、特に電気設備等に不良箇所が多く発生してきており、修繕が必要。		
		<input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	施設を適正かつ効率的に運用管理していくためには、手を入れるべき時に適切な修繕を実施することが必要であり、施設の老朽化に対応する修繕費用の増額が見込まれる。
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
	平成27年度に実施した消防点検において指摘された消火栓設備不具合等について修繕を行った。			平成27年3月に実施した公共建物定期点検における指摘箇所の修繕を実施する必要がある。また、建設後23年が経過し、想定外の箇所に不具合が生じて急な修繕を要することも増えてきており、計画的な器具交換を実施するなど、行うべき修繕は行うべき時期を見て進めていきたい。				
	評価日	H28.8.10	評価者職氏名	文化財保護担当参事兼文化財保護課長 木村立彦				
環境影響	有益な環境影響	5-4歴史・文化的環境の保全		有害な環境影響を及ぼす原因活動	電気機器等の使用		規制を受ける環境法令等	
							緊急事態	